



# グルモール

第1号

令和8年4月30日(木)

JAPANESE SCHOOL NEW DELHI 2026

## 令和8年度教育活動スタート

校長 尾後貫 智

4月8日(水)、令和8年度のニューデリー日本人学校の教育活動がスタートしました。体育館で始業式を迎えた子どもたちの1つ進級した新たな姿に凛々しさを感じました。新しく赴任した5名の職員を迎え、またナマステの会では34名の新しい友だちと出会いの挨拶を交わしました。翌日の入学式では、新1年生が17名、新7年生が31名が入学し、全校児童生徒262名でのスタートとなりました。

始業式では、子どもたちへ1年間心がけてほしいこととして、3つの「あ」の話をしました。

**1つ目「あいさつ」** 「あいさつ」は、単なる礼儀ではありません。人と人との心の距離を縮め、心の周波数を合わせる、大切なコミュニケーションです。元気に「おはようございます」と言われると、言われた側の心も明るくなります。反対に、あいさつのない空間は、どこか冷たく、互いに関心を持たない雰囲気になってしまうものです。学校は、多くの人と関わりながら生活する場所です。だからこそ、「自分からあいさつをする」という行動が、とても大切になります。あいさつができる子は、人との関係を築く力が育っていきます。そして、人とのつながりがある子は、困った時に助けを求めることができます。近年、「コミュニケーション能力」が大切だと言われますが、その原点は、実は毎日のあいさつにあると私は考えています。ぜひご家庭でも、「おはよう」「いってらっしゃい」「おかえりなさい」という日々のあいさつの言葉を大切にしていいただければと思います。

**2つ目「ありがとう」** 「ありがとう」という言葉には、不思議な力があります。言われた人がうれしくなるだけではありません。言った人自身の心も、温かくなります。人は、一人では生きていけません。毎日の生活は、多くの人に支えられています。友だちが声をかけてくれる。先生が教えてくれる。家族が送り出してくれる。お弁当を作ってくれる人がいる。安全を守ってくれる人がいる。しかし、それが“当たり前”になると、人は感謝を忘れてしまいます。感謝できる子どもは、人の優しさに気づける子です。そして、人の優しさに気づける子は、自分もまた、人に優しくできるようになります。学校でも、「してもらって当たり前」ではなく、「ありがとう」が自然に言える子どもを育てていきたいと思えます。

**3つ目「あきらめない」** 子どもたちは、これから一年の中で、たくさんの壁に出くわすと思います。勉強が難しい。友だち関係で悩む。思うようにできない。失敗する。うまくいかない。しかし、本当に大切なのは、「失敗しないこと」ではありません。失敗しても、そこで終わらず、もう一度挑戦しようとすることです。今の時代は、答えをすぐ知ることができます。けれども、「粘り強く考える力」や「困難に向き合う力」は、簡単に身につくものではありません。だからこそ学校では、「すぐにできる子」を育てるのではなく、「できるまで努力できる子」を育てたいと考えています。あきらめない経験は、子どもに大きな自信を与えます。「自分は頑張れた」「乗り越えられた」その経験こそが、将来の困難を乗り越える土台になると考えます。

この3つの「あ」はどれも特別なことではありません。しかし、この“当たり前”を大切にできる子どもは、確実に成長していきます。学校と家庭が同じ方向を向き、子どもたちを支えていくことで、その力はさらに大きく育っていきます。本年度も、子どもたち一人一人の成長を、保護者の皆様とともに支えてまいりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

## 親の顔が見たい

子どもが、思慮に欠ける言動したときに、昔からこう言われます。子どものころ落ち着きのなかった私は、幾度となく先生方からはもちろん、当の親本人からもそう叱られたことがありました。元来子どもは思慮に欠けるものであって、いろいろと失敗をするものです。「ずいぶん言葉だなあ」とは思うのですが、私にそう言った時の母親の気持ちには、自分自身の子育てに対する「やるせなさ」が少なからず含まれていただろうことは、親になった今の私にはわかります。そこで皆さんに「こころのチキンスープ-愛の奇跡の物語」(J・キャンフィールド、M・V・ハンセン共著)から私の心に残っている一節を紹介いたします。

子どもは、批判されて育つと

人を責めることを学ぶ

子どもは、憎しみの中で育つと

人と争うことを学ぶ

子どもは、恐怖の中で育つと

オドオドした小心者になる

子どもは、憐れみを受けて育つと

自分を可哀想だと思えるようになる

子どもは、馬鹿にされて育つと

自分を表現できなくなる

子どもは、嫉妬の中で育つと

人をねたむようになる

子どもは、ひけめを感じながら育つと

罪悪感を持つようになる

子どもは、辛抱強さを見て育つと

耐えることを学ぶ

子どもは、正直さと公平さを見て育つと

真実と正義を学ぶ

子どもは、励まされて育つと

自信を持つようになる

子どもは、ほめられて育つと

人に感謝するようになる

子どもは、存在を認められて育つと

自分が好きになる

子どもは、努力を認められて育つと

目標を持つようになる

子どもは、皆で分け合うのを見て育つと

人に分け与えるようになる

子どもは、静かな落ち着いた中で育つと

平和な心を持つようになる

子どもは、安心感を与えられて育つと

自分や人を信じるようになる

子どもは、親しみに満ちた雰囲気の中で育つと

生きることは楽しいことだと知る

子どもは、まわりから受け入れられて育つと

世界中が愛であふれていることを知る

あなたの子どもはどんな環境で育っていますか？

「心のチキンスープ」から





# ようこそニューデリー日本人学校へ



令和8(2026)年度がはじまりました!8日の始業式には34名の転入生を迎え、最初の「ナマステの会」を行いました。また、9日の入学式には小学部、中学部1年生の入学をお祝いし、全校生徒262名でスタートしました。また、5名の新着任の教員を迎え、新体制のオールNDJSで充実した教育活動を心一つにして展開していきます!



## ご入学おめでとうございます

4月9日(木)、小学部1年17名、中学部1年31名を迎え、令和8年度のニューデリー日本人学校入学式が挙行されました。来賓としてご出席いただいた、在インド日本国大使館大使小野様、本校学校理事長竹内様、PTA会長安田様をはじめ、たくさんの方々からお祝いのおことばをいただきました。



## 水泳指導がはじまりました!



インドの慣習に従い、プージャー(安全祈願)を行い、プール開きになりました。9月27日まで土日や長期休業中も保護者同伴で使用できますので、ご活用ください。

## 児童生徒会役員立会演説会

23日(木)、前期の児童会・生徒会の役員選挙に係る立会演説会がありました。対立候補がたくさん出た役職もありました。立候補者は、各々あいさつ運動、意見箱の充実、親睦を深める交流行事・・・など熱く公約を語っていました。



## 授業参観・学級懇談会・PTA総会

28日(火)、前期の参観授業・学級懇談会・PTA総会が行われました。学校でのお子さまの様子をご覧いただき、担任とは学級の様子や教育活動への思いなどを交流していただきました。第1回PTA総会では、新役員の紹介、活動方針、バス運営報告、学校概要説明などが行われました。PTA役員、バス委員のみなさまおつかれさまでした。ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました！



## 今年度着任職員紹介

今年度は、5名の新職員が着任しました。どうぞよろしくお願ひします。



### <令和8年度着任職員>

相生 真志	奈良県より
伊藤 穂香	山形県より
小川 裕子	福岡県より
北澤 秀子	大阪府より
油井 雅彦	神奈川県より

## ＜令和8年度着任職員のメッセージ＞

★ 奈良県出身、そして大河ドラマ「豊臣兄弟！」の舞台、大和郡山市から参りました相生真志です。同じ奈良出身の首相の言葉を借りれば、私はこのインドの地で、子どもたちとともに「学んで、学んで、学んで、新しい発見を重ねていきたい」と思っています。古都・奈良に負けない歴史の深さと、圧倒的な多様性をもつこの地で、情熱をもって教育活動に邁進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

相生 真志 (あいおい まさゆき)

★ 山形県から来ました。インドでの生活は、毎日驚きの連続です。これからもっと暑くなると聞きました。児童、生徒の皆さんが安全に楽しく学校生活を送れるように精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

伊藤 穂香 (いとう ほのか)

★ 福岡県北九州市から来ました。明るく元気なニューデリー日本人学校の皆さんに初日からたくさんの元気をもらいました。この出会いやこれからの学びの日々を大切にしながら精一杯努めてまいります。よろしくお願いいたします。

小川 裕子 (おがわ ゆうこ)

★ 大阪府吹田市から来ました北澤秀子です。インドとの縁の深さをいくつもいくつも感じています。エネルギッシュなインドで、元気な子どもたちに出会えてとてもうれしいです。一日も早くニューデリー日本人学校の校歌を覚えて、みんなと一緒に歌いたいなあと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

北澤 秀子 (きたざわ ひでこ)

★ 神奈川県横浜市から来ました。マンゴーと餃子と空心菜の炒め物が好きです。インドでなければ、今年のこのメンバーでなければ、今でなければできないようなことをどうやって取り入れるかを考えています。みなさんとの気持ちの良いコミュニケーションを楽しんでいます。どうぞよろしくお願いいたします。

油井 雅彦 (ゆい まさひこ)

## 今年度職員体制

校長	尾後貫 智	教 頭	小田 恵美子	教務主任	大久保 智巳	副教務主任	油井 雅彦
養護教諭	榎本 朔美	音楽専科	バルミ 緑	英会話講師	Joylene Medom	スクールカウンセラー	鈴木 貴子
1年1組	北澤 秀子	2年1組	三牧 璃佳	2年2組	佐藤 愛瑠未	小学部副担	伊藤 穂香
3年1組	伊藤 林太郎	3年2組	藤本 理人	4年1組	小川 裕子	4年2組	岡田 利統
5年1組	近藤 純平	5年2組	東 衣緒	6年1組	佐納 達平	6年2組	増島 樹里
スーリヤ1	豊田 聡	スーリヤ2	山田 萌子	小学部主任	朝野 友子	中学部主任	投石 浩穂
7年	佐々木 直人	8年	相生 真志	9年	鈴木 結加里	中学部副担	森 拓夢
事務	根元 志保	事務	雪丸 加奈	通訳	Meenu Rajput	通訳	Kannan Bhaskar

### <児童生徒数>

4月30日現在 スーリヤ生の数は交流学級に計上しています。

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	スーリヤ	計
男子	10	9	17	14	21	18	10	5	14	(6)	118
女子	7	26	21	16	14	16	20	11	12	(2)	143
計	17	35	38	30	35	34	30	16	26	(8)	261

